



※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2024年10月15日

# CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数：10/4-10/11)



	週間	月間	YTD
<b>VN指数</b>	<b>1.40%</b>	<b>0.03%</b>	<b>14.02%</b>
<b>VN30指数</b>	<b>1.97%</b>	<b>0.73%</b>	<b>20.42%</b>
<b>VN中型株指数</b>	<b>1.41%</b>	<b>-0.74%</b>	<b>11.53%</b>
<b>VN小型株指数</b>	<b>1.47%</b>	<b>-0.30%</b>	<b>3.63%</b>

先週の指数は1270.60ポイントから1288.39ポイントへと1.4%の反発となりました。ベトナム市場は利益確定の売りに押されて始まりまし。しかし、7-9月期の実質国内総生産が前年同期比7.40%増と、前期の同7.09%増からやや加速し、政府が良好な先行き見通しを示したこと、7-9月期の企業決算に対する期待が高まったことなどを背景に上昇基調に転じました。

規模別に見ますと、大型株のVN30指数が+1.97%と上昇に転じました。また、中型株指数が+1.41%、小型株指数が+1.47%とそれぞれ反発しております。

	週間	月間	YTD
<b>為替レート</b> (ドン対円レート)	<b>0.95%</b>	<b>3.16%</b>	<b>2.45%</b>

通貨ベトナムドンにつきましては、9月の米雇用統計を受けて、雇用情勢の底堅さが確認され、米長期金利が上昇したことで、米ドルに対して弱含みとなりました。一方、ドル円相場は日米金利差の拡大が意識され、引き続きドル高・円安となりました。週間ではベトナムドンは円に対して+0.95%と続伸しております。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	1.6%	素材	2.7%
不動産	2.3%	公益事業	-0.2%
生活必需品	2.4%	エネルギー	0.4%
一般消費財	-1.4%	情報技術	4.0%
資本財	1.6%	ヘルスケア	3.4%

セクター別に見ますと、8セクターが上昇いたしました。特に右下から2番目の情報技術が+4.0%、その下のヘルスケアが+3.4%と、それぞれ大きく反発いたしました。一方、左下から2番目の一般消費財が-1.4%と続落しております。



銘柄名[ティッカー]	騰落率	銘柄名[ティッカー]	騰落率
マサングループ（生活必需品）[MSN]	+7.3%	モバイル・ワールド（一般消費財）[MWG]	▲2.9%
ビンホームズ（不動産）[VHM]	+5.1%	PVパワー（公益事業）[POW]	▲2.7%
ホアファットグループ（素材）[HPG]	+4.2%	ベトナム乳業（生活必需品）[VNM]	▲1.2%

大型株のVN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、複合企業のマサングループが+7.3%、不動産開発大手のビンホームズが+5.1%と、それぞれ反発しました。また、鉄鋼大手のホアファットグループが+4.2%と続伸しております。

一方、下落銘柄は家電量販店大手のモバイルワールドが-2.9%、発電大手のPVパワーが-2.7%、ベトナム乳業が-1.2%と、それぞれ続落しております。

### VN指数直近1年の推移



先週のVN指数は、ベトナムの景気・企業業績への期待などを背景に反発いたしました。9月の消費者物価上昇率が前年同月比2.63%へと鈍化を続けており、ベトナム中央銀行が経済成長を優先する姿勢を継続していることもポジティブです。

一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10.8倍と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上